

安全重点施策

令和7年度

1. 運航可否判断を適格に実施し、気象悪化に伴う事故をゼロにする。
2. 船体・機関等のメンテナンスの徹底と点検箇所の見直しを行い、常に最良の状態を維持し故障をゼロにする。
3. 作業基準に沿った作業手順の適切な実施によりヒューマンエラー防止、作業事故をゼロにする。
4. ヒヤリハット事例等の情報収集、情報の共有をはかりトラブルの未然防止、安全意識の維持・向上を図る。
5. 船内及び陸上施設（待合所・乗降口）における旅客の安全誘導、声掛け、案内を十分にし旅客の転倒等の事故防止を徹底する。